

# 水泳ニツポン・ 中期計画2017-2024

(2020年度 進捗報告)



センターポールに日の丸を!



2021年6月

## 公益財団法人日本水泳連盟

# 水泳ニッポン・中期計画2017-2024 要旨

ドリームプロジェクト2020

ドリームプロジェクト2020策定  
アジア選手権東京大会開催

2012

2016

水泳ニッポン・中期計画2017-2024

中期計画2017-2024策定

2017

パンパシ選手権東京大会開催

2018

東京五輪開催

2021

世界選手権福岡大会開催

2022

水泳ニッポン・新時代構想

公益財団法人日本水泳連盟創立100周年

2024

## ①「する」「みる」「ささえる」水泳ファミリーの拡大

- ・日本代表の強化推進による水泳人気の拡大
- ・競技者、指導者、審判、ファン、愛好者の拡大

【ポイント1】  
「第2期スポーツ基本計画」に基づき策定

## ③組織基盤の強化

- ・幅広い分野からの有能な人材の積極的な登用
- ・若手を中心とした人材育成

## ②「泳げない子供・大人」を減らす環境整備

- ・地域内温水プール拠点化構想の推進
- ・安全をより重視した学校体育(水泳授業)の充実

【ポイント2】  
「理念」「使命」「行動指針」を明文化

## ④データベースの再構築

- ・登録、エントリー、課金記録管理の改善
- ・2次利用による次世代収益基盤の確立

## センターポールに日の丸を！

競技力向上に努め、センターポールに日の丸を掲げ、人々に勇気と希望を与える。

競泳・飛込  
水球・AS  
OWS・日本泳法

## 国民皆泳

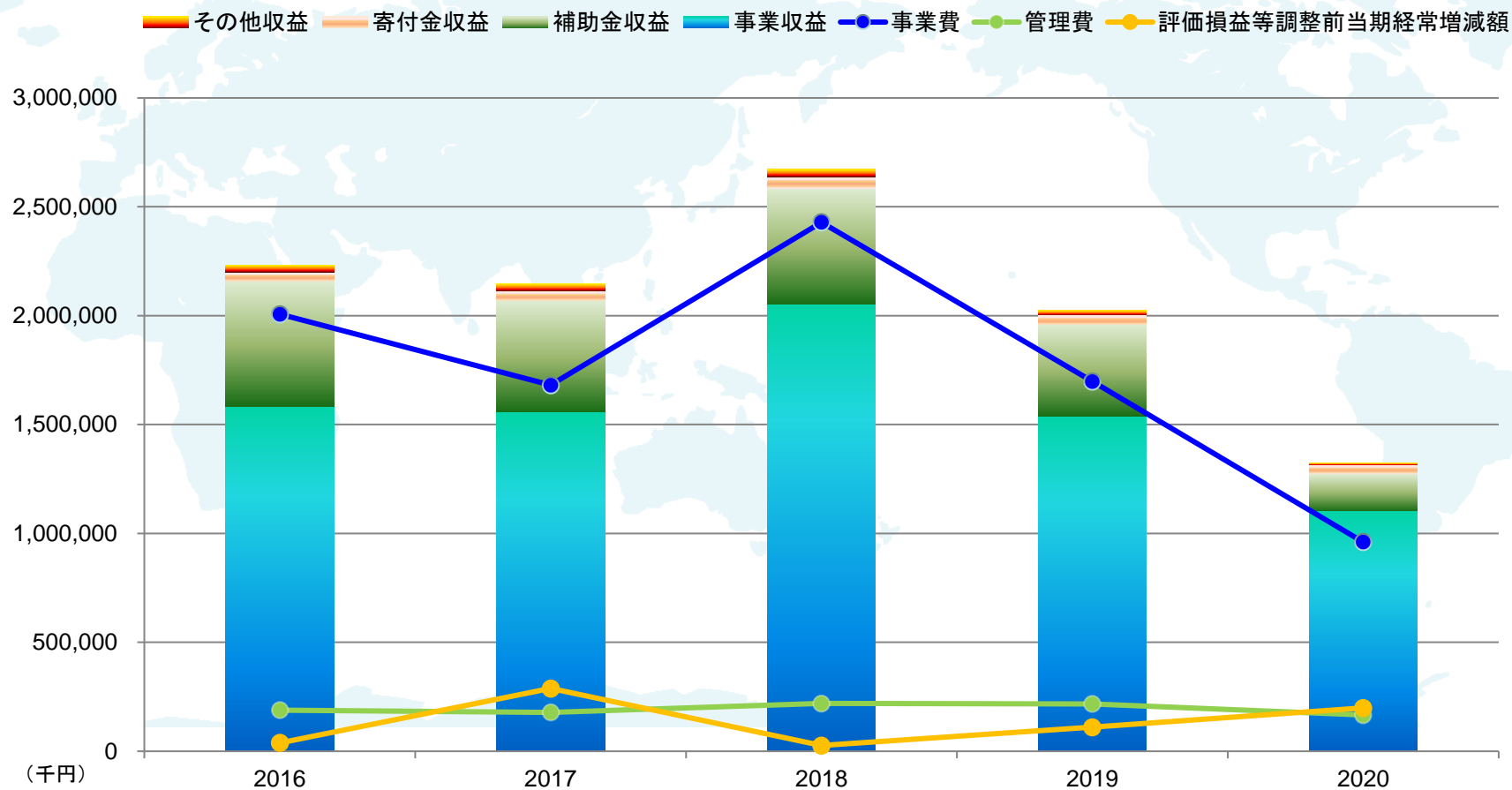
水泳の普及に努め、国民皆泳を実現し、人々の健康保持・増進と、水難事故防止に貢献する。

【ポイント3】 4戦略+8アクションプランで構成

# 財務状況

2020年度財務実績 (単位:百万円)

■ 事業収益	1,103	■ 補助金収益	171	■ 寄付金収益	40	■ その他収益	11	■ 収入合計	1,325
■ 事業費	961	■ 管理費	165	■ 支出合計	1,127	■ 評価損益等調整前当期経常増減額	198		



# 【1】日本代表強化：①競泳

【戦略2017①】

## 2021

## 2024

目標

- ①複数の金メダル獲得、10個以上のメダル獲得
- ②20種目以上の入賞

- ①複数の金メダル獲得、10個以上のメダル獲得

2020年度 主要大会	金	銀	銅	総括
				大会延期 派遣中止



# 【1】日本代表強化：②飛込

【戦略2017①】

## 2021

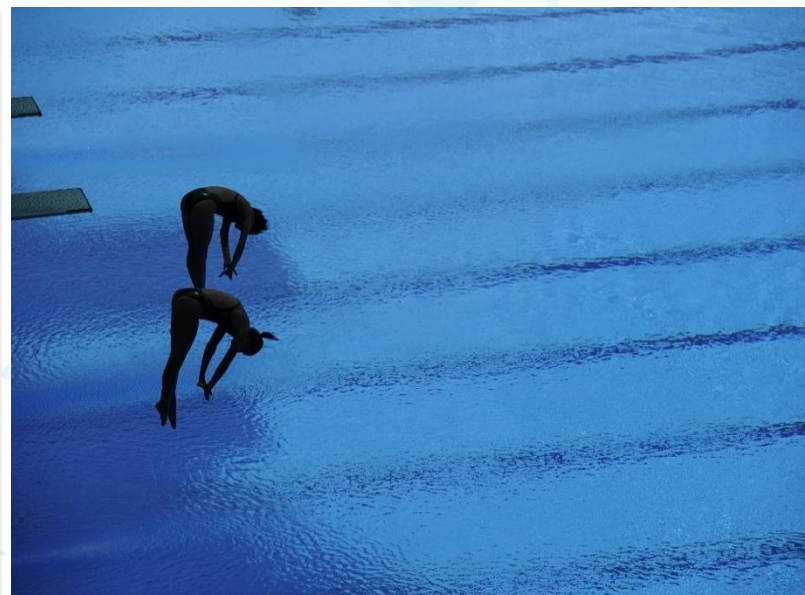
## 2024

目標

- ①女子高飛込メダル獲得
- ②シンクロナイズド3種目入賞(女子高飛込、男子飛板飛込、女子飛板飛込)

- ①女子高飛込以外の他個人種目メダル争い
- ②シンクロナイズド入賞及びメダル争い

2020年度 主要大会	金	銀	銅	総括
				大会延期 派遣中止



# 【1】日本代表強化：③水球

【戦略2017①】

## 2021

## 2024

目標

予選リーグ突破～メダル獲得挑戦

ベスト8進出～メダル獲得

2020年度 主要大会	金	銀	銅	総括
				大会延期 派遣中止



# 【1】日本代表強化：④AS

【戦略2017①】

## 2021

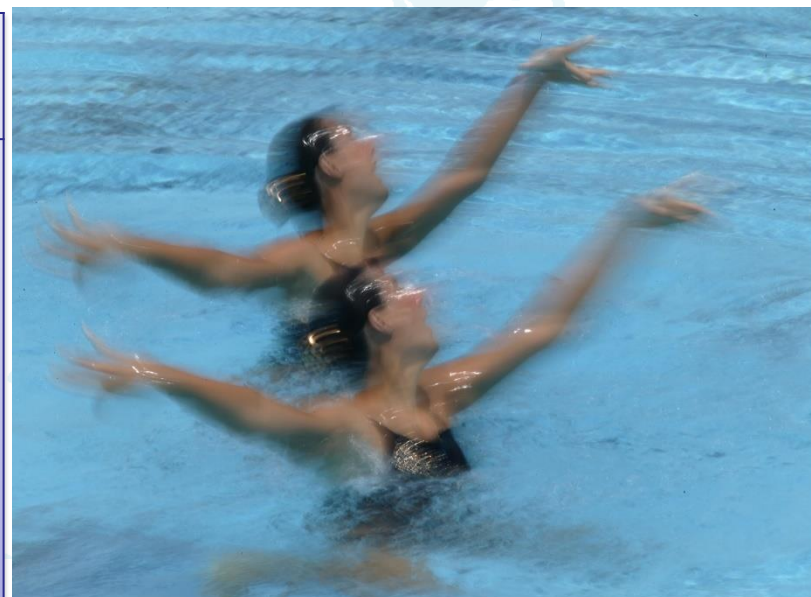
## 2024

目標

デュエット、チーム 銅メダル獲得

メダル獲得

2020年度 主要大会	金	銀	銅	総括
				大会延期 派遣中止



# 【1】日本代表強化：⑤OWS

【戦略2017①】

## 2021

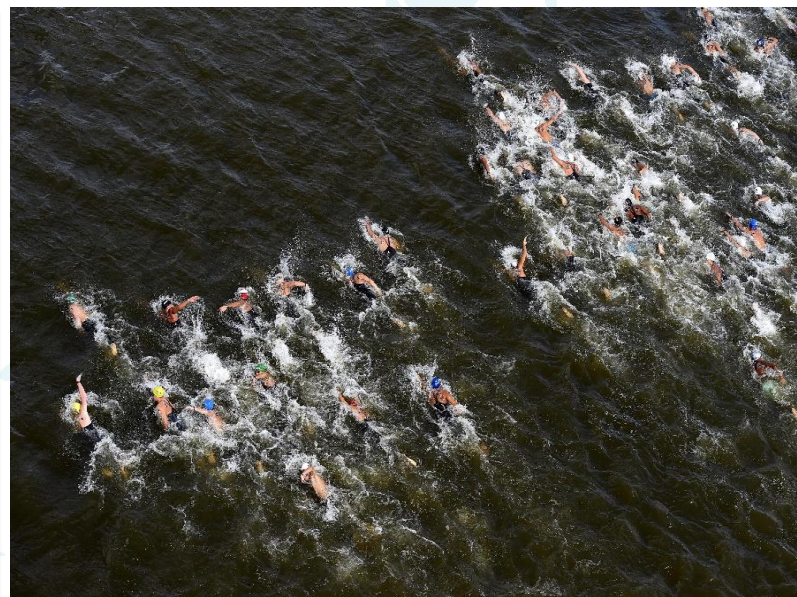
## 2024

目標

2大会連続8位入賞

3大会連続8位入賞

2020年度 主要大会	金	銀	銅	総括
				大会延期 派遣中止





# 【2】指導者・審判

【戦略2017①】

【戦略2017②】

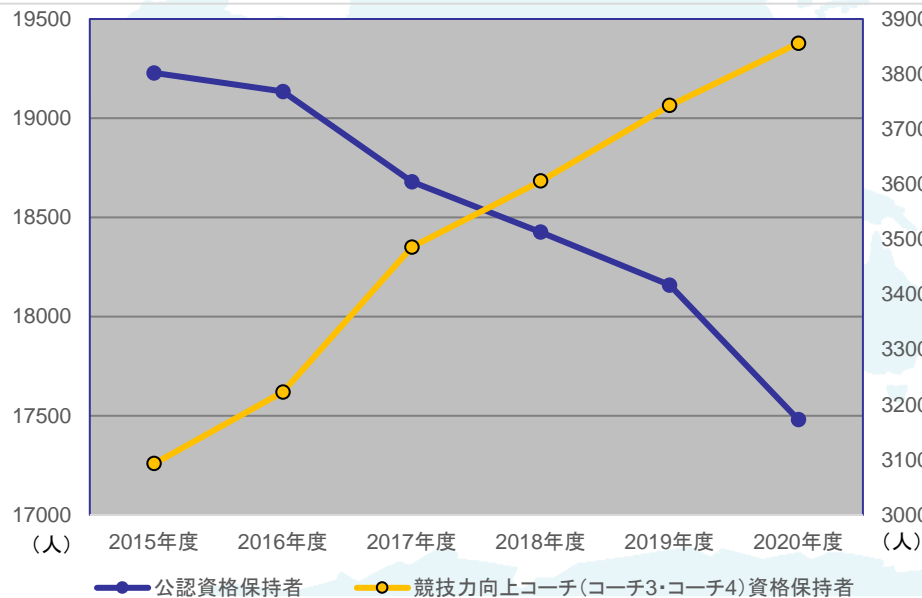
## 2020

## 2024

目標  
公認指導者：20000人 (未達成)  
公認審判員：16000人 (未達成)

公認指導者：21000人  
公認審判員：17000人

■ 公認指導者数の推移



■ 公認審判員数の推移



(単位:人)

# 【3】競技会・マーケティング

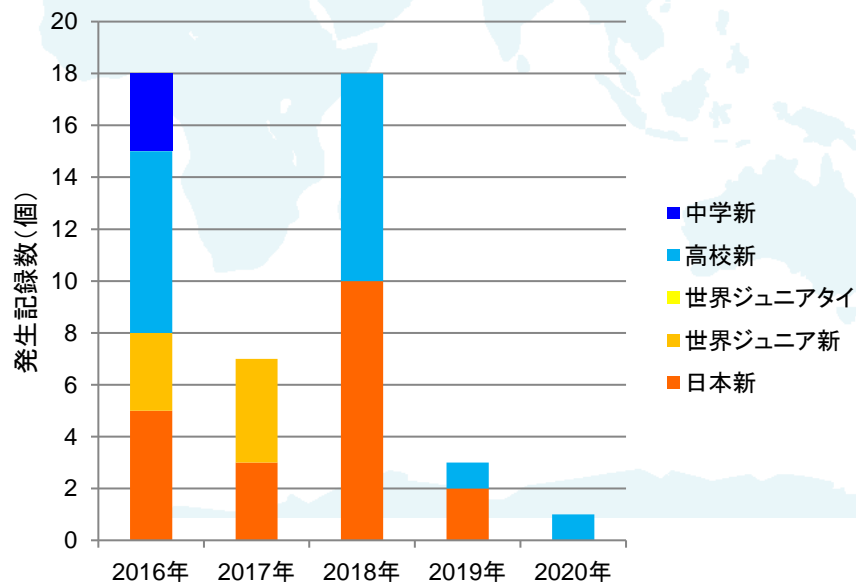
## 2020

## 2024

**目標** 競技会：国内競技会の充実  
 マーケティング：ブランディング強化

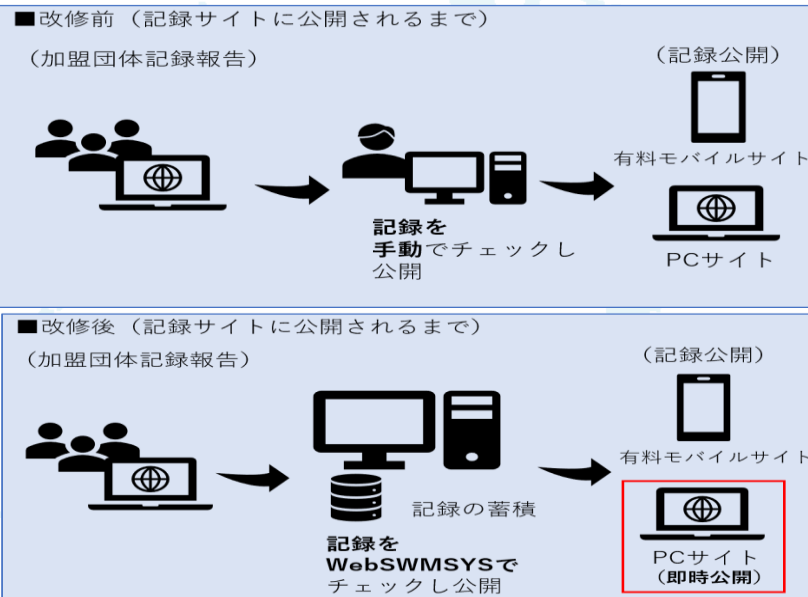
競技会：国内競技会の充実  
 マーケティング：事業の強化

競泳日本選手権における発生記録の推移



### 記録の集積と利便性の向上

資産取得資金・記録サイト構築事業（2020年度）



# 【4】普及

【戦略2017①】

【戦略2017②】

# 2020

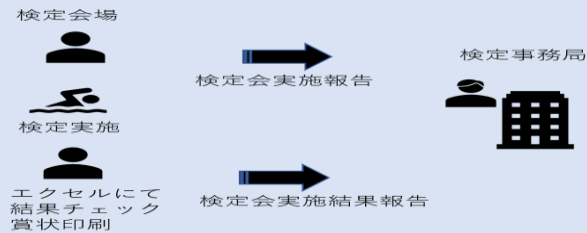
# 2024

- 目 ①国民皆泳の実現  
標 ②水泳ファミリーの拡大

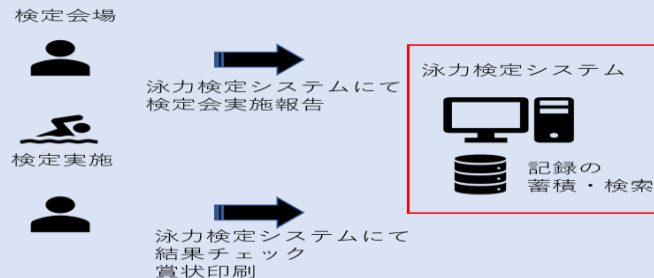
- ①国民皆泳の実現  
②水泳ファミリーの拡大

## 検定結果の集積と利便性の向上 資産取得資金・記録サイト構築事業（2020年度）

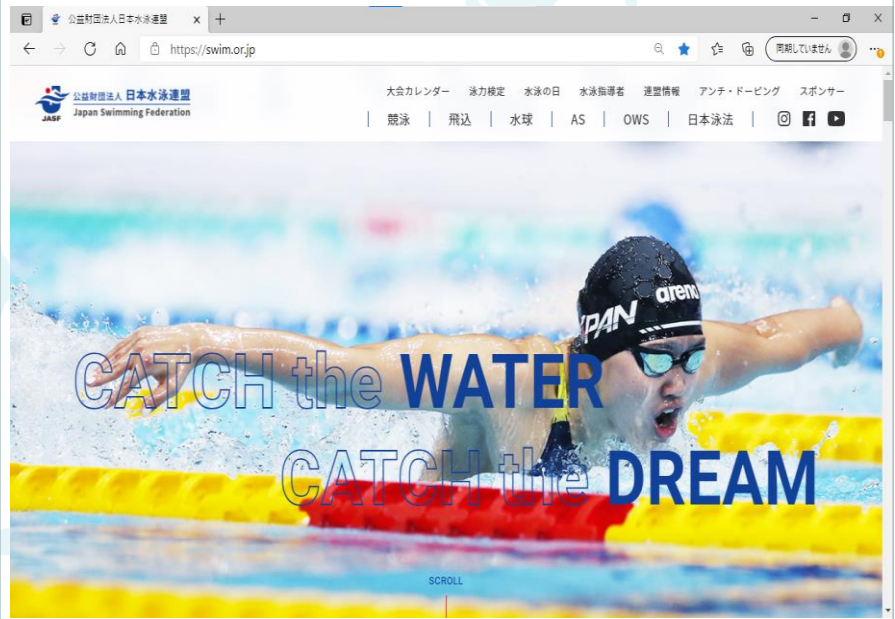
### ■泳力検定（システム導入前）



### ■泳力検定（システム導入後）



## 見やすさ、親しみやすさ、発信力の向上 特定費用準備資金・ホームページリニューアル事業（2020年度）



# 【5】組織基盤

【戦略2017③】

【戦略2017④】

## 2020

## 2024

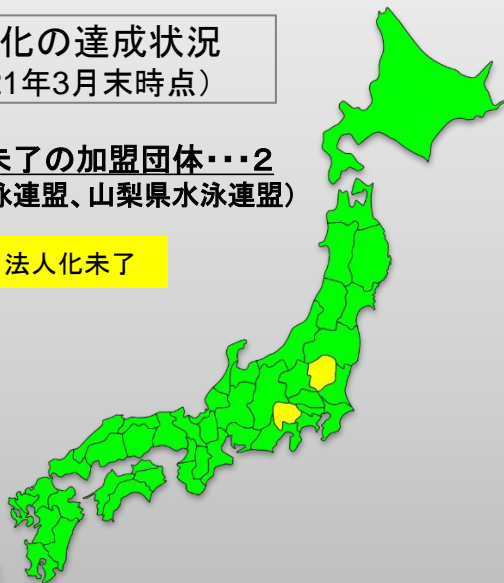
- 目標
- ①組織基盤の強化
  - ②全加盟団体の法人化(未達成)

- ①組織基盤の強化
- ②全加盟団体との理念・使命・行動指針の共有

法人化の達成状況  
(2021年3月末時点)

法人化未了の加盟団体・・・2  
(栃木県水泳連盟、山梨県水泳連盟)

法人化未了



スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>  
適合性審査 自己説明抜粋 \*2020年12月15日 JOCに答申

審査項目	自己説明
外部理事及び女性理事の目標割合の設定	2023年3月を目処に、外部理事25%以上、女性理事40%以上を目標割合として設定する予定である。
外部評議員及び女性評議員の目標割合の設定	2023年3月を目処に、外部評議員及び女性評議員の目標割合を設定する予定である。
理事が原則として10年を超えて在任することがないよう再任回数の上限を設定	外部理事・女性理事の選出方法に関する評議員及び役員候補者選任規程の改訂と併せ、再任回数の上限の設定についても、2023年3月を目処に対応を検討する。



● センターボールに日の光を!   
公益財団法人日本水泳連盟